

仁志敏久さん×金子和弘さん

第1回まくらが中学野球大会の対戦相手が 33年ぶりに再会

昭和60年に開催された第1回まくらが中学野球大会の決勝戦で対戦した2人が33年ぶりに再会しました。仁志さんは古河第三中学校のエースで1番バッター、金子さんは三和中学校のエースで4番バッターとして活躍。当時の思い出を懐かしみながら、会場だった古河市民球場で試合を振り返っていただきました。

🍷 決勝戦 PlayBack

決勝戦は、仁志さん・金子さんの力投もあり、試合終盤まで0対0の大接戦。9回表、三塁にいた仁志さんへのけん制が悪送球となり、その失点が決勝点となりました。1対0で勝利した古河第三中学校がまくらが中学野球大会で優勝を飾りました。

🍷 2人のコメント

仁志さん：三塁にいた私へのけん制悪送球が決勝点につながったことは覚えています。優勝した時の試合会場に対戦相手に会えるなんて懐かしいですね。

金子さん：私も自分の悪送球が原因で負けてしまったことをはっきり覚えています。けがもあり、中学校卒業後に野球をやめてしまいました。プロを目指して野球に打ち込む息子*には、仁志さんのような偉大な選手になってほしいです。

*広報古河11月号14ページ掲載の金子凌さん。



▲当時の思い出を振り返る仁志さん(左)と金子さん(右)

子どもたちには、自分で考えて発言や行動ができる自立した人間になれるような指導をしていきたい。



スポーツの盛んなまちに

市長：仁志さんは、侍ジャパンU-12代表監督として活躍されていますが、子どもたちにはどのような指導をされていますか。

仁志：私のチームでは、選手一人一人が自立できるような指導を心掛けています。こちらが求めるものを指示してやるのではなく、自分でやるべきことを子ども自身の言葉で引き出し、答えを導き出し行動させることが大切だと感じています。

市長：U-12代表だとメンバーが集まれば

針谷市長 × 古河大使 仁志敏久さん 新春対談

る期間が限られていると思います。その中で、選手である子どもたちの心をつかむポイントはありませんか。

仁志：時には厳しく接しなければなりません。家族のように接する必要もあります。そのバランスを自分の中でコントロールしながら指導しています。子どもたちが自然に感じられるよう、子どもとの距離感は常に考えています。

市長：やはり信頼関係は重要ですね。最後に、今後の古河市やスポーツに関して期待することをお聞かせください。

仁志：全国的に野球やサッカーができる公園が少なくなっていますが、誰もが気軽に楽しめる場は必要だと思います。

また、指導者への支援も必要です。指導者がいなくなってしまうと子どもたちもそのスポーツを諦めざるを得なくなりますが、そうならないために、頑張る指導者にも温かい目を向けてもらいたいです。そして、もう一度、古河がスポーツの盛んなまちになってほしいと思います。

市長：場所・空間、人・時間の問題などスポーツを取り巻く環境は、時代の変化と共に大きく変わってきています。その変化に対応しながら、スポーツのまち古河を目指し、市民の郷土愛醸成につなげられるように頑張っていきたいと思えます。

REPORT

古河大使 春風亭柳橋さん 落語で楽しく伝える

平成27年から古河大使として活動していただいている春風亭柳橋さん。ふるさとである古河のPR活動を全国で行う傍ら、市内のイベントなどにも数多く出演しています。その活動の一部を紹介します。

🏠 ECO フェスタ 2018

11月10日、古河はなもも体育館で開催されたECOフェスタで行われた高座では「落語で聴く昔暮らし今暮らし」を演じました。

多くの人たちが、柳橋さんの話に聞き入っていました。

🏠 道の駅マルシェ～食欲の秋～

11月11日、道の駅まくらがの里こがで行われた高座では、食欲の秋という季節柄の話を盛り込み落語を演じました。

旬の食べ物の由来を楽しく紹介する話を来場者は笑顔で聞いていました。



春風亭柳橋 Profile

古河第三小学校、古河第二中学校、栃木高校、東京経済大学を卒業。一部上場企業に就職するが、落語家になりたいとの思いから会社を辞め、7代目春風亭柳橋に入門。平成6年に真打ちに昇進し、平成20年に8代目春風亭柳橋を襲名。



仁志敏久さんからのメッセージ

夢を追いかける君たちへ

目標設定がしっかりしていないと、自分の行きつく地点がはっきりしません。そんな人は、壁に突きあたったときに乗り越えられなかったり、競争になった時に勝てなかったりします。

入りたいプロ野球の球団や、そこでどんな成績を残したいかなどを明確に決め、強い意志を持って臨めば、迷った時や競争になった時に必ず実力が発揮できます。私は当然プロ野球選手になると思っていました。君たちも必ず夢を実現するんだという強い気持ちで頑張ってください。